

# ほのぼの苑だより

題字：若狭 四郎 様

豊川小学校の創立130周年記念式典・学習発表会に招待されました。  
素晴らしい時間をありがとうございました。





鍋っこ・焼き芋

十月三日のお昼に『鍋っこ』を開催しました。比内地鶏からダシを取り、だまこを入れて、鍋を食堂中央に設置し、目の前で調理しながら、出来るまでの様子と薫りも楽しんでいただきました。鍋料理だけではなく、途中、スイーツも登場し、テーブルをさらに華やかにしていました。

三時のおやつには、焼き芋を玄関前で行い、熱くなったサツマイモや紅芋を火傷しないように、ふうふうと、息を吹きかけながら、皆さんで秋の味覚をおいしく頂きました。

(七尾 健 記)



十月誕生会

十月二十九日、家族会が終了してから、食堂にて、誕生会が行われました。

家族会後の誕生会ということで多数のご家族の方に参加して頂き、家庭的な雰囲気の中、誕生会が開催されました。

誕生会では落ち葉を使った押し花を作成し、その押し花を額に入れて、ご家族の方と一緒に記念撮影を行いました。そしてシェフより誕生者の方へ、落ち葉の形をしたクッキーをデコレーションしたチョコムースがプレゼントされました。誕生者の方の思い出の一つとなったのではないのでしょうか。

(畠山 典子 記)





# ほのぼの苑 ちよつとイイ話

「ほのぼの苑 ちよつとイイ話」  
は、苑内での感動する話をご紹介します。  
するコーナーです。

## ちよつとイイ話

### 十月の業務日誌より

十月四日（水）

今日、近々退苑される入苑者の方が、「私帰るってば何時頃だ？お風呂はどうなるんだ？」と、ニコニコしながら話されました。本当に自宅に帰るのが楽しみなんだなあと、その方の表情から伺えました。やはり多くの入苑者の方は「家に帰りたい」と思っているように感じます。少しでもその気持ちの手助けが出来たらと思います。



十月十一日（水）

ある入苑者の方がご飯に全く手をつけていなかったので、厨房にお願いして、海苔の佃煮を出してもらい、食べて頂いたところ、半分以上召し上がって下さいました。これからも無理に食べてもらうのではなく、快く食べて頂けるよう工夫していききたいと思えます。

十月十三日（金）

今日は家族の方が来苑され、息子さん、お嫁さん、入苑者の方と三人で中廊下で過ごされている所を目にしました。短い時間でも、楽しかったようで、家族の方が帰られた後でも穏やかに、微笑まれている姿がとても印象的でした。

十月二十日（金）

だいぶ寒くなってきたので、入苑者の方で足が病んできたと話され、「外は雨が降っているか？」と話されていました。私も骨折した経験があり、寒くなってくると足が時々痛みます。そのような痛みにも、私たちも緩和ケアが出来ればと思うので色々工夫してみたいと思えました。

十月二十二日（日）

ある入苑者の方に届いた一つの人形。それはおしゃべりする赤ちゃんの人形でした。入苑者の方々はすぐにその人形の虜になつていました。まるで、ご家族の方が生まれたばかりの孫を連れてきてお披露目しているようでした。



十月二十七日（金）

秋も深まり、通苑者の方が自宅の庭先に咲いているダリアや菊の花を持ちよってはデイルームを鮮やかに彩ってくれています。男性通苑者の方からも「テーブルが明るくなっていいな」と声が掛けられ、心を和ませる花々を持ちよつてくれる通苑者、ご家族の方には感謝しております。

十月三十一日（火）

最近、夕方の嚙下体操に参加し始めた入苑者の方から「体操に参加するようになって、夜ぐっすり眠れるようになった。体操に来るのが楽しみになってきた。」との言葉を頂きました。その入苑者の方がこれからも継続して、楽しく参加して頂けるように努力していききたいと思えます。





第七回 家族会 議事録

第七回 家族会は、十月二十九日(日)午後二時より、食堂にて行われました。

先月に引き続き、ほのぼの苑だよりにて、毎月の質疑応答に関する資料を掲載致しますので、ご参加頂けなかったご家族の皆さんもご覧ください。

次回の家族会は、十一月二十六日 午後二時

次々回の家族会は、十二月十七日 午後二時から行います。

◆質疑応答◆

Q 家族会が開催されることになった経緯を教えてください。

A 職員と入苑者のご家族が、入苑者のために協力することで、快適であり、皆が望むケアや環境を作る為の会として発足しました。

今まで施設運営適正化委員会へ入苑者のご家族八名に参加していただき、毎月一回の話し合いを行ってまいりました。この委員会は平成十三年より始まり、六年間定期的に開催されてきましたが、委員メンバーの中には利用者の方が、他の施設へ移られたり、他界されていることから、この度、新たな試みが必要ではないかと提案が出され、始動することになりました。

参加者は、入苑者のご家族全員が対象となります。ご家族同士で話し合ったり、現場職員との話し合い、施設への提案、個別の悩みなど、当苑がますます良い施設になるような会にしたいと考えておりますと説明。

Q 居室一部屋に対して、一脚で良いので椅子があると助かります。

A 施設長と相談し、準備できるような検討することを説明。

Q 爪が伸びていたので切って欲しい。

A 職員も声かけ、オムツ交換時にチェックをしているが、見落としがあった場合、遠慮なく近くの職員に声をかけていただくように説明。また、チェックを徹底していくことを説明。



幸福

これまでの原稿を読むと、皆それぞれ違う「幸福」、「不幸せ」の形があります。そんな中で私が考える、私にとっての「幸福」とは、数年前の私なら「好きな人と一緒に居る事」等と可愛い事を思い浮かべたかもしれませんが・・・この原稿を依頼された時に真っ先に思った事、それは、気の許せる仲間と美味しいお酒を飲み、好きな物を食べながら話をし、思いつ切り笑う事です。

世間では、いじめによる「自殺」等といった暗いニュースが飛び交っています。私も、小学生の時に「いじめ」を経験し、「死にたい」という思いをした事がありますが、何とかその苦しみから抜け出し、「仲間」、「友達」と呼べる人達に沢山出会えました。これが、私にとって何よりも大切な「幸福」ではないかと考えました。

そして次に、誰にも邪魔されず、好きなだけ寝ること。

私は、自他共に認めるぐらゐ本当に寝る事が大好きです。春を目の前にした季節や今の時期は布団が、恋しくて・恋しくて仕方がなく、体と布団に強力な「接着剤」が付いてしまったかのように布団から出られなくなりまく。あの布団のヌクヌク感が堪らなく心地が良いのです。

ですが、この様な事が「幸福」と思う一方で「飲んで、食べて、寝る」

この行為で「肉付き」のいい身体になってきています。これを前向きに、自分の都合がいい様に考えれば「幸せ太り!」と言えるかもしれませんが、鏡を見る度に「あれっ?これって少し不幸せ?」と思ってしまう私がいいます。これを読んで下さった方は、私をどちらだと考えますか?

編集後記

今月は、「介護サービス情報の公表」として、調査が行われました。この制度は、利用者が介護サービス事業所を適切に選ぶための情報提供のしくみです。介護サービスを利用される方は、この情報を活用して、自分にあつた事業所を選ぶことが出来ます。当苑の情報もインターネットから、いつでも誰でも自由に見ることが出来ますので、ぜひご覧ください。

発行



医療法人 正和会  
介護老人保健施設 ほのぼの苑

〒018-1401

秋田県潟上市昭和久保字街道下 92-1

電話 018-877-7115 FAX 018-877-7481

ホームページ

<http://www.seiwakai-akita-nol.or.jp/>

編集責任者 加藤 稔樹

発行責任者 小玉 敏央